

学校を開くWEB学級日誌や学校配信メールの活用

愛知県小牧市立小牧中学校 神戸 和敏・筒井 研一

<実践内容>

- (1) 校内ネットワーク上の「WEB学級日誌」データを校外用ネットワーク上の「WEB学級日誌」へデータ転送がされるように設定（毎日17:00をめぐり）。学級日誌の校外発信可能となった。
- (2) 「学級日誌コンクール」実施。
 <目的>ネットワーク利用の日常化を図り、コンピュータの有効活用を図る。生徒が自分の学級を見つめ、学級を意識する気持ちを高める。「学級を開く」活動の一環とし、学級のよさを学校内外に伝える。実践を通して情報モラルを身につけさせる。→EVERYDAY入力賞、努力賞、優秀賞を設定して表彰。

EVERY DAY 入力賞		
1年1組	1年4組	1年5組
1年6組	1年7組	
2年1組	2年4組	
3年1組	3年2組	3年6組
努力賞		
1年2組	1年3組	
2年2組	2年5組	
3年3組	3年4組	3年7組
優秀賞		
1の6	矢次・山城	応援の練習では、たいふクラスの気持ちが1つにまとまってきたせいか、動きがバラバラにならなくなってきた。でも手がきちんと伸びてない練習のときに、笑っているなどの問題点がまだまだ残っている。あと(練習が)できるのはたった1日!!やる時間は残り少ないけど体育大会ではクラス全体の気持ちが1つになれるようにがんばりたいです。(山城)今日大縄で、最高10何回しかとべなかったのもっと回数を上げていきたいです。本番では、50回はとびたいです。明日もがんばります。(矢次)
		学級役員が決まった。学級役員になった人は、このクラスをひっぱっていきよと申した。だから、偉んでやることがあったら重行

- (3) 「学校配信メール」のPR
 「学校の今を伝える学校配信メール」というキャッチフレーズで、文書でPRしたり、学校公開日やPTA会議等で「学校配信メール」のよさを知らせたりした。現在、280家庭ほどに配信。
- (4) マキネット（学校ホームページの名称）モニター会議実施
 学校公開日の折りに、保護者40名ほどに学校ホームページで発信内容について意見を聞く。人気のページ、必要情報、メール内容等について意見を聞く。